

京阪電車の安全に対する取り組み

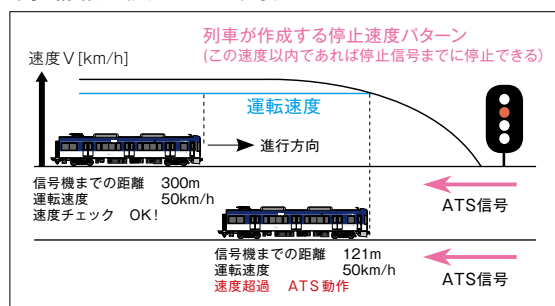
お客さまの日常生活を支える鉄道を安全に、安心して快適にご利用いただくため、京阪電気鉄道㈱では、ハード・ソフト両面からさまざまな取り組みを行っています。

安全設備の充実

昭和42年に関西民鉄で初めてATS(自動列車停止装置)を導入しました。さらに現在、より一層の安全性向上のため、京阪線において多情報連続式ATSへの全面更新に取り組んでいます(平成27年度から一部区間で使用を開始し、順次対象区間を拡大)。また、運転士や車掌がお客さまの乗降を確認し、安全に閉扉を行うための監視用テレビ装置の高輝度化やハイビジョン化を進めているほか、ホームからの転落やホームと車両の間への落下に関する対策として、ホーム足下灯のLED点滅式への更新や新設、ホーム転落検知装置や非常通報ボタンなどの設置、平成32年度を目途に京橋駅においてホームドアの整備着手を目指すなど、安全最優先の原則に則り、安全設備の充実を図っています。

このほか、駅の信号機、ポイント、行先表示器、案内放送などを自動的に制御する「自律分散式列車運行管理システム(ADEC)」により、安全で円滑な運行管理を維持しています。さらに、地震への対策として、駅や高架橋などの耐震補強も進めています。

◆多情報連続式ATSの概要



自律分散式列車運行管理システム(ADEC)

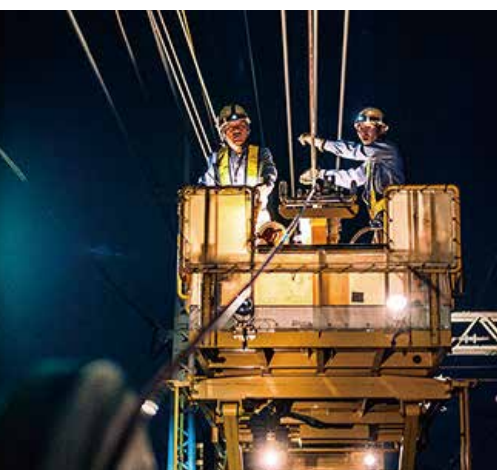
安全を守る日々の取り組み

事故や災害などの非常事態に備えて多様な訓練を実施しています。そのなかでも、毎年行っている総合事故復旧訓練と総合防災訓練は、京阪電気鉄道㈱のみならず、近畿運輸局などの関係機関の協力のもとで実施しています。毎回さまざまな状況・場面を設定し、緊急事態発生時にもすみやかに行動をとれるようにしています。また、爆発物などの危険物によるテロ行為を想定した鉄道テロ対応訓練も実施しています。



総合事故復旧訓練

このほか、安全設備やその他関連機器の保守・点検を徹底するために必要な技術継承教育、運転士が備えるべき知識・能力の維持向上のための技能講習を実施し、安全確保のために日々取り組んでいます。



電車線張り替え工事

ひらかたパークの安全対策

「ひらかたパーク」では京阪電気鉄道㈱の鉄道技術部門が安全性を確認し、一部の遊戯機のメンテナンスを寝屋川車両工場で行っています。

鉄道会社直営の強みを活かし、鉄道車両で実施する検査などを遊戯機に応用することで、高い技術レベルでの安全確保に取り組んでいます。



ジェットコースターの分解整備

京阪電気鉄道㈱の安全に対する取り組みの詳細は、同社Webサイトに掲載の「安全報告書」をご覧ください。

<http://www.keihan.co.jp/corporate/safety/>